

# R5学校教育活動アンケート結果

No.	質問項目	回答率 55%	全学年					学校
			そう思う	大体そう思う	肯定感	あまりそう思わない	思わない	
【1】	生徒は、自らの生き方を創り、たくましく行動することができている。	17%	58%	76%	16%	4%	4%	<p>学校教育活動アンケートの実施につきましてご協力いただきありがとうございました。今年度は、COCOO(コクー)での回答をお願いしました。COCOO(コクー)へのご意見では、「子どもがプリントを出さないのでお知らせを配信してほしい」などがありました。来年度以降、全員の登録ができるようになれば、さらに活用をしていけると思います。クラスや部活動での限られた範囲での活用は今後も積極的に進めていきます。また、アンケートや出欠等についても、こちらを利用しペーパーレス化を図っていきたくと考えております。</p>
【2】	生徒は、安全で楽しく、充実した学校生活を送っている。	32%	56%	88%	6%	4%	2%	
【3】	生徒は、自ら学び、自ら考える学習ができている。	16%	50%	66%	25%	6%	3%	
【4】	生徒は、学習に対して前向きに取り組んでいる。	24%	52%	75%	17%	6%	2%	
【5】	学校は、教育活動説明会等で評価規準、評価方法について十分に説明している。	17%	60%	77%	11%	4%	8%	
【6】	本校の教員は、生徒一人ひとりの実態を把握し、学習指導している。	10%	51%	61%	19%	5%	15%	
【7】	本校では、学校生活の中で人権に配慮した教育活動が行われている。	13%	58%	72%	8%	3%	18%	
【8】	生徒は、豊かな心で互いに高め合い、学校生活を送っている。	19%	59%	78%	10%	2%	10%	
【9】	本校では、生徒の健康や安全への配慮が十分にできている。	21%	64%	85%	5%	2%	7%	
【10】	生徒は、社会の一員として、自らできることを考え、実践しようとしている。	13%	51%	64%	22%	4%	9%	
【11】	本校の生徒会活動や部活動は、生徒の自主活動として充実している。	23%	58%	81%	5%	3%	11%	
【12】	本校の教員は、生徒一人ひとりの実態を把握し、個に応じた指導をしている。	10%	50%	60%	17%	5%	18%	
【13】	本校の教員は、生徒に対して共通理解された方針で指導している。	11%	53%	63%	11%	3%	22%	
【14】	1年自然体験・2年校外学習・3年修学旅行の校外行事は生徒に意義ある活動になっている。	41%	51%	92%	3%	0%	4%	
【15】	体育祭は、生徒の意欲的で主体的な活動になっていた。	42%	50%	91%	3%	1%	5%	
【16】	桐花祭【合唱コンクール】は、生徒が意欲的で主体的な活動になっていた。	43%	45%	88%	4%	1%	7%	
【17】	授業参観週間は、生徒や学校の様子(教育活動)を知るうえで有効な機会になっている。	31%	52%	83%	9%	1%	7%	
【18】	保護者面談は、生徒の学習・生活の様子を知るうえで有効な機会となっている。	47%	45%	91%	5%	1%	3%	
【19】	欠席自動連絡【コクー】の導入で欠席連絡等が円滑にできるようになっている。	53%	36%	89%	4%	1%	6%	
【20】	学校・学年・学級によりで生徒や学校の様子は保護者に十分伝えることができている。	19%	63%	82%	13%	1%	4%	
【21】	学校からのメール配信は、適切な内容で配信し、十分に活用されている。	38%	56%	94%	4%	1%	1%	
【22】	学校HP(ホームページ)で、個人情報に配慮して情報が十分に公開されている。	28%	48%	76%	4%	1%	20%	
【23】	学校では、災害や不審者対応など、安全面に配慮がなされている。	20%	52%	72%	7%	1%	20%	
【24】	P T A活動は、教育活動を支援し、積極的に活動している。	19%	54%	73%	5%	2%	21%	

【学習】学習に関しては、市の状況等から比較的良い結果も出ています。自ら進んで取り組む姿勢の高い生徒も多いが、反面、学習意欲を無くしている生徒もいます。学校としては、1・2年生対象に長期休業中の行き学習意欲を高める取組をしています。学習評価は、令和3年度より3観点に変更され見直し改善がなされており、特に主体的な学習への取組については、知識・技能、思考・判断・表現の学習状況を分析的に評価することになっています。

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた  
⇒粘り強い取組を行おうとする側面
- ② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、  
⇒自らの学習を調整しようとする側面

**自らの学習を調整しようとする側面の評価**

- 自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面を評価
- 生徒が自らの理解の状況を振り返る場面
- 自らの考えを記述したり話し合ったりする場面
- 他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面

「主体的・対話的で深い学び」の視点、からの授業改善を図る中で、適切に評価できるようにしていくことが重要です。

具体的な評価方法としては、

- ノートやレポート等における記述内容  
単に提出したからではダメ
- 授業中の発言内容  
数多く発言しただけではダメ
- 教員による行動観察  
単元・学習のまとまりで評価
- 生徒による自己評価や相互評価等の状況

【部活動】部活動に関する意見としては、様々な具体的なご意見があり、ご要望等やご指摘については、顧問へ直接申出ていただくことが良いと考えています。横浜市部活動ガイドラインに準じて実施することになっていますが、部の活動方針や環境等の状況によって様々な活動や取組があるようです。部活動ごとの説明会や直接顧問にご相談いただければ部の状況等がご理解いただけます。

【生活】学校生活に関するご意見では、「ジャージ登校をこれからも継続してもらいたい」「体育や部活動がなくてもジャージ登校可にしてほしい」などがありました。コロナ禍で更衣する場所等の密を避けるため、現状のようにジャージで生活することになっています。コロナ禍が落ち着いた時には、3年前のような着替える習慣に戻すべきか検討する必要があるのではと考えています。学校生活がジャージで良いとなった場合は、着替えることで生活のメリハリがなくなり現状でも心配な傾向はあります。また、「標準服」の必要性も議論されます。その他のご意見では、生徒指導について、「ルールを守れない生徒がいるのではないか、その指導はどのようになっているか」と疑念を持っているというご意見もありました。学校としては、学校社会のルールは守ることで社会のルールのあり方を学ぶ場面と考え指導しています。しかしながら、多様な価値観の中で家庭の方針等を優先させてほしいという要望もあります。そのような場合には、ご家庭と密に連携し個に応じた指導対応ができるようにしていきます。また、現在生活指導部を中心に生活様式について検討を重ねています。

【学校給食】学校給食の配膳については、職員室前で配膳し、生徒が取りに来る方法をとっています。教室前で配膳する方法でやると生徒の負担や時間も多かかってしまうと考えています。しかしながら横浜市の政策として、令和8年には、「完全給食」として原則全生徒が「学校給食」を注文することで教室前配膳を実施しようとしています。本校としても「完全給食」に向けて取り組む必要があると考えています。

【学校連絡・情報サービス】COCOO(コクー)については、大変有効なツールとして活用しています。特に朝の欠席連絡が円滑になり、職員の負担も軽減し、家庭からの連絡も具体的に連絡していただけているため円滑な対応をすることが出来るようになっています。来年度からは、横浜市の小中学校が「すぐー」というアプリを導入し、このサービスを継続することになっています。全家庭での登録をしていただくことにより活用場面を増やし有効な情報ツールとしての活用をしていきます。現在の登録は次年度へ継続していきます。1・2年生でまだ登録されていない方は、担任へご相談ください。なお、「COCOO」のメール配信は3月末で終了します。